

乳がんの集学的治療経験者の治療後の妊娠から産褥期におけるケアニーズに関する研究

1. 研究の対象

- ・乳がんの手術や薬物治療や放射線治療を受けられて後に、出産（出産後6年未満）されている方

2. 研究目的・方法

研究目的

乳がん集学的治療経験者による妊娠から産褥期の妊娠・出産・育児の体験の語りを通してケアニーズを明らかにします。

研究方法

半構成的面接法にてインタビュー(60～90分)を行います。

調査方法

半構成的面接法にてインタビュー(60～90分)を行います。

調査内容

【自記式シートによる基礎情報】

年齢、家族構成、既往歴、乳がん治療歴、治療施設の形態、出産年月、出産場所、妊娠期間、育児期間について、を記載していただきます。

【半構成的面接法】

乳がんの治療、妊孕性温存療法、妊娠、妊娠中、出産、出産後8週までの育児における体験とそのときの思いや考え、看護職者との関わり、について自由に語っていただきます。

3. 研究期間

調査期間:倫理審査承認後～2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

該当ありません

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

研究責任者から参加候補者の方に公募チラシをお渡しします。研究についての説明を聞く意思がある方には、研究代表者の連絡先（メールアドレス）をお伝えします。研究代表者は、連絡をいただいた方と研究対象候補者の希望の日程、希望の方法（電話、オンライン、直接会える場を設ける）で説明させていただきます。研究概要について、希望した日程と場所（施設や会議室などの個室）で対面して研究協力依頼書を用いて説明します。研究協力を拒否した場合や途中で辞退した場合でも、診療およ

び看護上の不利益が生じることは一切ないことを十分に説明し、同意書と同意の撤回書をお渡しします。同意をいただいた方にインタビュー調査をさせていただきます。なお、インタビュー調査にご協力いただいた方には、自宅からインタビュー調査の場所までの交通費と、謝礼としてクオカード2000円分をお渡しいたします。

6. 外部への試料・情報の提供及び公開

本研究のインタビュー調査により得られた情報とのデータは、特定の関係者以外が、アクセスできない状態で利用されます。

個人が識別できる情報については、研究代表者により大学内で鍵をかけて保管・管理します。本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. 研究組織

【共同研究機関】

研究責任者

- ・ 埼玉県立がんセンター（看護部横枕令子看護師）

研究代表者

- ・ 聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科（博士後期課程小野智恵美・指導教授大石ふみ子先生）

研究協力施設と協力者

- ・ 東京家政大学健康科学部看護学科（講師小野智恵美）
- ・ 帝京大学医学部附属病院（外科学講座教授神野浩光先生）
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター（看護部小島真奈美師長）
- ・ JA長野厚生連佐久医療センター（看護部渡辺純子看護師）

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用・提供を行いません（利用・提供を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地 TEL：048-722-1111/FAX：048-722-1129

研究責任者：埼玉県立がんセンター看護部 横枕令子

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町 3453 メールアドレス：23dn01@g.seirei.ac.jp

(研究代表者)：聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科 小野智恵美